

### 「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞご登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています。

PF ニュース編集委員一同

### 投稿のお願い

#### 【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

#### 【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

#### 【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

### 宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1  
高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所 放射光実験施設内  
PF ニュース編集委員会事務局  
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202  
Email : pf-news@pfqst.kek.jp  
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

### 編集後記

私は某私立大学の化学科にて研究・教育を行っております。研究室に配属された 4 年生を初めて PF に連れて実験に行くと、毎回、その学生達の目の輝きが増すのを見るのが毎年の楽しみです。研究に対する姿勢もまた、より積極的になる気がしています。やはり、自分が最先端の研究を行っているという自覚を覚え、それに喜びを感じるからではないかと思っています。最近では学部生の授業の合間に（雑談的に）PF での実験風景を見せたり、どのような実験を行っているかを話したりもするようにもしています。高校までの化学のイメージとは大きくかけ離れているためか、やはり、学生たちは興味を持って聞いてくれているようです。授業内容よりも、そういった雑談のほうがよく覚えてくれているのは、嬉しいものか、哀しいものか、複雑な気持ちですが…。

私自身も学生時代、初めて PF に来て実験したことをよく覚えています。出張して非日常的な空間で集中して実験を行うことの楽しさにとりつかれ、かれこれ 20 年近くが経ってしまいました。多くの若い学生さんたちが、私と同じように、PF をきっかけに研究の魅力に気づき、アカデミックの世界に入って来てくれたらと、日々教育を楽しんでいます。この PF ニュースも、その一助となってくればと願っております。(MH)

### \* 2023 年度 PF ニュース編集委員 \*

委員長	松垣 直宏	物質構造科学研究所			
副委員長	加藤有香子	産業技術総合研究所			
委員	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	小澤 健一	物質構造科学研究所	
	坂本 祥哉	東京大学物性研究所	佐賀山 基	物質構造科学研究所	
	篠崎 彩子	北海道大学大学院理学研究院	高木 宏之	加速器研究施設	
	高橋 真	JFE テクノリサーチ株式会社	永田 隆平	東京大学大学院理学系研究科	
	長谷川慎吾	横浜国立大学 大学院工学研究院	引田 理英	物質構造科学研究所	
	菱田 真史	東京理科大学理学部第一部化学科	平川 力	産業技術総合研究所	
	望月 出海	物質構造科学研究所	山下 翔平	物質構造科学研究所	
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所			